

進学指導重点校等における 進学対策の取組について

進学指導重点校・進学指導特別推進校・進学指導推進校の進学指導改善計画
及び中高一貫教育校の進学対策に関する取組状況

平成23年1月
東京都教育委員会

はじめに

都教育委員会では、平成13年度に行った都民意識調査等において、難関国立大学への進学を目指す都立高校に対する都民のニーズが高まっていることから、都立高校改革推進計画に基づき、平成13年9月、「進学指導重点校実施要綱」を定め、日比谷高校、戸山高校、西高校及び八王子東高校の4校を進学指導重点校に指定した。更に平成15年11月には、青山高校、立川高校及び国立高校の3校を進学指導重点校に指定し、生徒の進学希望を踏まえた指導内容及び指導方法の工夫改善を図り、生徒の進路希望を実現できるよう組織的で計画的な進学指導を推進してきた。

平成22年7月には、進学指導重点校が満たすべき水準としての選定基準及び各学校において定める平成24年度までの目標設定の考え方について示した。この中で、都教育委員会は、選定基準に対する21年度末から23年度末までの適合状況を踏まえ、各学校における生徒の学力の伸長度や、各学校の取組の状況などを総合的に勘案して、平成24年度に審査を行い、平成25年度以降の進学指導重点校を改めて指定することとした。

また、進学指導重点校に次ぐ学校として、平成19年6月、「進学指導特別推進校実施要綱」を定め、小山台高校、駒場高校、新宿高校、町田高校及び国分寺高校の5校を新たに進学指導特別推進校として指定した。

さらに、平成22年度には、新たに「進学指導推進校指定要綱」を定め、平成19年度から進学指導推進校として位置づけられていた三田高校、国際高校、豊多摩高校、竹早高校、北園高校、墨田川高校、城東高校、小松川高校、武蔵野北高校及び小金井北高校に加え、江北高校、江戸川高校、日野台高校及び調布北高校の4校を含む14校について指定を行った。

進学指導推進校の指定については、進学校の全都的な配置のバランスや地域からのニーズなどを踏まえ、進学対策を進める都立高校の裾野を広げ、都立高校全体の進学対策を強化することを目的としている。

このように都教育委員会では、一人一人の生徒を大切にするとともに、豊かな個性や創造性を育成し、生徒の進路希望や学習希望等に応じた教育を行うため、進学指導重点校等における進学対策を推進してきた。

進学指導重点校等には、将来の日本社会のリーダーとなりうる高い資質の生徒が入学している。その潜在的能力からすれば、高校3年間の指導を一層充実させることにより、大学合格実績を更に向上させることが可能である。

各学校では、育てたい生徒像を明確にして学校の特色を更に進めるとともに、各要綱に定める指定期間の各学校の進学に対する改善計画等を設定し、都教育委員会では、各校の取組を支援するための常設機関としての「進学指導推進委員会」の設置を通じて、今後とも都立学校における進学対策全般のレベルアップを図っていく。

平成23年1月

東京都教育委員会